

施策
4-1

農業の振興

あるべき姿

農産物の作付面積や生産規模が維持され、安定経営、付加価値化により農業所得が増えています。

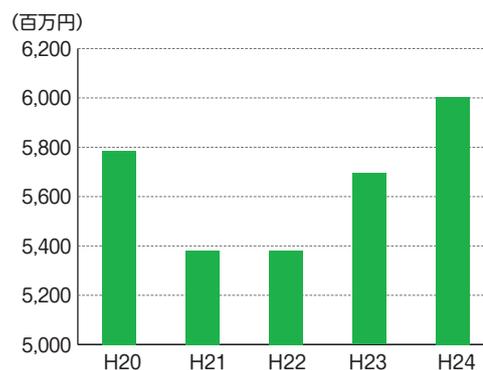
成果指標

| 指標名 | 現状値 (平成26年度) | 目標値 (平成32年度) | 説明 |
|------------|----------------------|-----------------|------------------------------|
| 農産物の作付面積 | 6,145ha | 6,090ha | 水田台帳面積から保全管理などの不作付地を除いた面積です。 |
| 市内総生産額(農業) | 6,003百万円 (平成24年度) | 6,500百万円 | 新潟県市町村民経済計算による農業の年間生産額です。 |

施策をとりまく環境変化と課題／施策の基本方針

- 農業の高齢化とともに離農者数が年々増えており、後継者の確保が困難となっています。若い担い手を確保するため、儲かる農業、魅力ある農業の実現に向け、規模拡大と園芸作物導入による複合営農の取組を育成・支援します。
- 圃場整備率が県平均を大幅に下回っています。圃場整備を推進し、農地の集積、集約化を図るとともに、組織化・法人化への誘導により生産コストを低減するほか、有害鳥獣の増加による農作物の被害対策を推進します。
- 新品種の開発や売れる米づくりに向け、産地間競争が激しくなっています。土づくりを基本として、低農薬・有機栽培により高品質で良食味の農産物のブランド化を図り、付加価値の高い農産物と加工品の生産・販売に取り組みます。
- 輸入飼料の高騰や事業者の高齢化により、畜産農家が減少しています。畜産経営の方向性を明確にし、耕畜連携による資源循環型農業を推進します。
- 農業体験交流者が年間約2千人の横ばいで推移しています。市民交流農園ハウスや道の駅での農産物直売所の整備により、地産地消と消費者との交流を進めます。

市内総生産額(農業)



出典：新潟県市町村民経済計算

序論

基本構想

基本計画

基本計画の
考え方や方針

分野別計画

安全・安心な
暮らしの実現子どもの育成
支援の充実高齢者や障がい者
福祉の充実地域経済の
活性化生活に密着した
住環境整備の促進市民協働の
推進信頼される
行政総務体制

資料編

施策
4-2

商工業の振興

あるべき姿

工業の製造品出荷額や市内購買の増加により、にぎわいや雇用が創出され、地域経済が活性化しています。

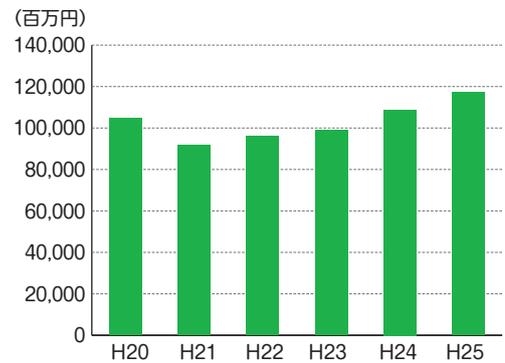
成果指標

| 指標名 | 現状値 (平成26年度) | 目標値 (平成32年度) | 説明 |
|-------------------|------------------------|-----------------|---|
| 製造品出荷額等 | 117,307百万円 (平成25年度) | 142,574百万円 | 1年間(1~12月)における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等内国消費税額を含んだ額です。 |
| 市内総生産額(第2次・第3次産業) | 131,697百万円 (平成24年度) | 153,138百万円 | 新潟県市町村経済計算による第2次産業及び第3次産業の年間生産額です。 |

施策をとりまく環境変化と課題／施策の基本方針

- 企業誘致活動は、他自治体と競合する傾向があります。県営東部産業団地への企業誘致を推進するため、企業情報の収集分析力をさらに強化し、東部産業団地の優位性をPRする誘致活動に取り組みます。
- 創業などに向けた相談体制を整え、販路拡大に向けた効率的な商談を増やす環境づくりが必要です。相談窓口のワンストップ化、創業、地場産業等の事業展開や新分野への進出等について支援します。
- 申告法人事業所のうち、法人税割を納税している事業者は5割以下となっています。特産品の販売促進や制度資金等の活用により、経営安定化に向けて支援します。
- 大型スーパーマーケット等が市外近郊に店舗を展開していますが、市内の賑わいが絶えないよう、地元スーパーや市内の小売店での買い物を支える取組を行います。
- 人手不足を課題とする市内事業所が少なくないことから、市民求職者への求人情報提供や市内事業者の支援により就労の促進に努めます。

製造品出荷額等



出典:工業統計調査

序
論

基本
構想

基本
計画

基本
計画の
考え
方・方
針

分野
別計
画

安全・安心な
暮らしの実現

子ども
の育成
支援の
充実

高齢者
や障が
い者
福祉の
充実

地域
経済の
活性化

生活に
密着した
住環境
整備の
促進

市民
協働の
推進

信頼
される
行政
総務
部

資料
編

基本目標4 地域経済の活性化

基本的方向

- 農産物の作付面積や生産規模を維持し、安定経営、付加価値化により農業所得の増加を図ります。
- 工業の製造品出荷額や市内購買の増加により、にぎわいと雇用を創出し、地域経済の活性化を図ります。
- 観光客数の増加、特にリピーターの獲得により、観光の拡大を図ります。
- 各地区の特性を踏まえて、バランスのとれた土地の有効活用を図ります。
- 市民生活における移動の利便性向上のため、公共交通の充実を図ります。
- 市民・行政の協働によるまちづくりを推進するため、市民によるまちづくり活動を支援します。

数値目標(成果指標)

| 指標名称 | 基準値 | 目標値 (H31) |
|---|-------------------|-------------|
| 農作物の作付面積 | 6,145ha (H26) | 6,090ha |
| 市内総生産額(農業) | 6,003 百万円 (H24) | 6,500 百万円 |
| 製造品出荷額等 | 117,307 百万円 (H25) | 138,422 百万円 |
| 市内総生産額(第2次・第3次産業) | 131,697 百万円 (H24) | 150,135 百万円 |
| 観光客入込数 | 1,181,568 人 (H26) | 1,360,000 人 |
| 宿泊施設に占めるリピーターの割合(2回以上) | 34.0% (H28) | 増やす |
| 各地区の特性を踏まえた開発・にぎわいづくりなどバランスのとれた土地活用(整備)が行われていると感じる市民の割合 | 28.0% (H27) | 40% |
| 公共交通機関の満足度 | 57.0% (H27) | 65% |
| 市民と行政が協働してまちづくりを行っていると感じる市民の割合 | 51.3% (H27) | 55% |

指標値の修正一覧

単位：百万円

| 現指標 | | 基準値 H26(H24) | 実績値 H27(H25) | 実績値 H28(H26) | 実績値 H29(H27) | 目標値 H31(H29) | 目標値 H32(H30) |
|-----------------------|------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 市内総生産額 (農業) | 総合計画 | 6,003 | 5,530 | 4,778 | 3,742 | | 6,500 |
| | 総合戦略 | | | | | 6,500 | |
| 市内総生産額 (第二次・第三次産業) | 総合計画 | 131,697 | 139,200 | 141,821 | 139,532 | | 153,138 |
| | 総合戦略 | | | | | 150,135 | |



単位：百万円

| 修正指標 | | 基準値 H26(H24) | 実績値 H27(H25) | 実績値 H28(H26) | 実績値 H29(H27) | 目標値 H31(H29) | 目標値 H32(H30) |
|-----------------------|------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 市内総生産額 (農業) | 総合計画 | 5,279 | 4,561 | 3,884 | 3,742 | | 5,543 |
| | 総合戦略 | | | | | 5,543 | |
| 市内総生産額 (第二次・第三次産業) | 総合計画 | 130,064 | 139,761 | 143,056 | 140,568 | | 150,874 |
| | 総合戦略 | | | | | 148,273 | |

| 目標値の計算根拠 | |
|-----------------------|----------------|
| 市内総生産額 (農業) | 基準値から年1%の増加見込み |
| 市内総生産額 (第二次・第三次産業) | 基準値から年2%の増加見込み |